

【報告事項】

1 官民一体となった非行少年対策について

（生活安全部）

警察本部から「西警察署と少年課は、令和6年4月頃から、福岡市西区下山門地区を中心に少年関連の110番通報や乗り物盗等が急増していたことから、抑止と検挙の両面から、官民一体となった非行少年対策を推進した。抑止対策として広報啓発活動及び防犯環境の整備等、検挙対策として非行少年グループの実態解明と徹底した取締り等を実施した結果、少年関連の110番通報の件数が大幅に減少し、非行少年グループは実質的に解体した。」旨の報告があった。

公安委員から「この地区において、少年関連の110番が多かった原因は何か。」旨の発言があり、警察本部から「商業施設や公園など、この非行少年グループにとっては、集まりやすい環境が影響していたと思われる。」旨の説明があった。

2 道路運送車両法違反等事件被疑者の逮捕について

（交通部）

警察本部から「春日警察署ほか2警察署及び交通捜査課は、車両を自社工場に入庫させることができないにもかかわらず、点検整備等を行ったかのように装い、虚偽の保安基準適合証を作成する等して、不正に自動車検査証の有効期限を更新したとして、7月9日、福岡市南区居住の元自動車検査員の男性ほか2人を逮捕した。」旨の報告があった。

公安委員から「そもそも車検に通るような車だったのか。」旨の発言があり、警察本部から「約50年前に生産されていた車であり、改造もしていることから、十分に整備をしなければ車検に合格することは難しかったのではないかとと思われる。」旨の説明があった。

3 危険運転致傷事件被疑者の逮捕について

（交通部）

警察本部から「久留米警察署及び交通捜査課は、7月5日午後7時52分頃、久留米市の国道上において、普通乗用自動車を制御困難な高速度で走行させたことにより、自車前方を進行中の軽四輪乗用自動車に追突し、被害者を負傷させたとして、住居不定、無職の男性を逮捕した。」旨の報告があった。

公安委員から「速度はどれくらい出ていたのか。」旨の発言があり、警察本部から「制限速度の2倍以上は出ていたと思われる。」旨の説明があった。

4 出入国管理及び難民認定法違反事件の検挙について

(警備部)

警察本部から「大牟田警察署及び外事課は、令和6年4月頃から令和7年4月頃までの間、大牟田市所在の会社関係施設において、家族滞在の在留資格で本邦に在留し、資格外活動の許可を受けた中華人民共和国の国籍を有する女性に、1週間に28時間を超えて作業員として報酬を受ける活動に従事させたとして、6月23日、大阪府居住の中国国籍の男性を逮捕し、7月11日、共犯者2人を任意送致した。」旨の報告があった。

公安委員から「会社の規模は大きいのか。」旨の発言があり、警察本部から「福岡県内に複数の関係施設を持つ会社である。」旨の報告があった。